

令和6年度 第2回（仮称）浜益学園設立準備部会 議事録

日 時 令和6年7月30日（火）19時10分～

場 所 浜益コミュニティセンターきらり

出欠状況

	氏名	出席	欠席	所属団体等
部会長	川村 佳広	○		浜益区集落支援員
副部会長	渡邊 隆之	○		浜益区地域協議会会長
	渡邊 善仁	○		浜益小学校 P T A 会長
	船橋 秀樹	○		浜益中学校 P T A 会長
	鳴海 知佳	○		はまます保育園 父母の会会長
	木村 武彦	○		学校支援推進員
	宮田 勉	○		浜益自治会会長
	鬼塚 建次	○		浜益小学校校長
	高橋 真吾	○		浜益小学校教頭
	細田 幸男	○		浜益中学校校長
	久富 綾一	○		浜益中学校教頭
	伊藤 英司		○	はまます保育園園長

事務局

学校教育部	部 長	中西 章司
学校教育部	次 長	澤口 敏之
総務企画課	課 長	笠井 剛
	主 査	市川 樹一朗
学校教育課	課 長	森本 栄樹
浜益学校教育課	課 長	柿崎 恵一

傍聴者 3名

1 校名・校章・校歌の募集・決定方法について

① 校名の募集・決定方法について

校名の募集・決定方法について、市川主査より説明。

- ・児童生徒及び保護者・地域を対象に実施された「みんなで考えよう浜益の未来と新しい学校」のアンケート結果が取りまとまった。
- ・募集期間は、12月議会に校名に関する条例改正案を上程することから、本年10月未までに決定する必要があるため、9月中旬に募集の取りまとめ、8月中には募集開始を予定したい。

- ・事務局案として、応募資格は浜益区内在住の方。
- ・応募方法は、アンケートで寄せられた「浜益学園」、「浜益きらめき学園」、「石狩はまます学園」、「浜益黄金学園」等の9つ程度に候補を絞って、投票による決定。
- ・実施方法は投票用紙を8月30日広報配布日に併せ全戸配布し、区内主要施設に回収BOXを設置する。
- ・投票以外の方法としては、自由記載や、アンケートのワードを使って考えていただく方法、投票と自由記載の組合せといった方法も考えられる。

質 問 ・ 意 見

【渡邊（善）部会員】

アンケート結果の校名の投票と併せて、「その他」として自由記述も出来るようにした方が良いのではないか。

【川村部会長】

投票と併せて、「その他」の自由記述を入れることといたします。

【木村部会員】

回収箱のある施設まで持っていけない方への配慮が必要ではないか。

⇒「事務局」連絡をいただければ、浜益学校教育課で回収に伺う。

【川村部会長】

候補の校名への投票と、その他で自由記述も出来るようにし、回収については、回収箱を設置する施設まで行けない方は支所に連絡していただくよう、アンケートの中で案内することとしましょう。

なお、文案については、私と事務局に一任いただくことでよろしいでしょうか。

<全会一致で承認>

② 校章の募集・決定方法について

校章の募集・決定方法について、市川主査より説明。

- ・厚田学園では、市内・市外問わず、全国から募集し、この部会にあたる、設立準備委員会で決定していた。浜益においては、浜益中学校の生徒に作成をお願いすることが出来ないかと考えている。
- ・校章をデザインする機会は、誰もが経験できることではない。卒業後のふるさと浜益への愛着に繋がるのではないかと考える。
- ・作成にあたっては、生徒たちのデザイン理由などの意見の取りまとめや、デザイン案

の仕上げを行っていただける大人を加えた方が良いと考える。

- ・大人は、浜益に縁のある方でご提案をいただきたい。また、大人の人数についても、ご意見を頂戴したい。
- ・デザイン決定後は、市ホームページほか、広報いしかりなどでも発表。
- ・早ければ、10月の校名決定後に着手できるのではないかと考えている。

質 問 ・ 意 見

【木村部会員】

先生に入ってもらうなど、大人は誰が入るのがポイントになると思う。

【渡邊（隆）副部長】

中学生にデザインしてもらおうという案に賛成。生徒全員に関わってほしい。

【細田校長】

子どもたちに考えさせていただけるということに感謝する。地域の方も巻き込んで取り組むことが出来れば良い。ただ、大人と子どもたちの関わる時間をどのように生み出すかといった課題もある。

【船橋部会員】

中学生が作成するというのは良いことだと思う。一緒に入っていただく大人は、先生が良いと思う。

【久富教頭】

生徒たちへの配慮に感謝する。例えば、小学5年と6年も一緒にできれば良いと思う。小中連携でできればいいと考える。ただ、中学三年生の関わりでは、確かに受験もあり、さらには、デザインの選択肢がない中、来年4月までにデザインをゼロベースで考えていくとなると難しい部分もあるのではないかと思う。また、美術部は現在3名の在席となっているので美術部単独での作成も難しいのではと思う。

【高橋教頭】

小学生が関わるとしたら、どのような時間を使ってできるかという問題がある。中学では部活の時間なども使えると思うが、小学校では授業の中で進めることになるものとする。授業時数の確保が難しいところ。

【鳴海部会員】

皆で一つのデザインをゼロから考えるという方法のほか、個々人で考えたデザインを集めて絞り込む方法もあると思う。

【宮田部会員】

いくつかの候補を集めて、審査・決定までのワンクッションとして、中学生などに選んでもらう方法もあると思う。厚田のように地元中学生も含めて広く募集して生徒に選んでもらうという方法はどうか。

【渡邊（善）部会員】

中学生が関わるのは良いことだと思う。ただ、中学三年生は、受験を控えているのと、デザインを完成させるまで詰め切れるのかが心配。

【鬼塚校長】

広く募集する方法もあるのかなと思う。中学生にデザインを依頼するには課題もあるのかなと思う。浜益区内全体から募集するのも良いと思う。

【川村部会長】

浜益の子どもたちに関わってもらおうというところは、皆さん同じ意見。子どもたちの関わり方、進め方について事務局案以外の意見としては、

- ・浜益の子どもたちから広くデザインを募集。
 - ・募集したデザインを子どもたちの投票等で絞り込む。
 - ・ファシリテーター的な大人は、先生方や浜益ロゴデザイン等を手掛けて、そのセンスに定評がある柿岡さんのような方に入っていただくということも考えられます。
 - ・小学校が関わるのは難しいのではないか。
 - ・中学生のデザイン作成では、選択肢やテーマの設定があれば、作成が可能ではないか。
- 大きくは以上のような意見だったと思います。

ただ、厚田のように区外から募集してしまうと、浜益の子どもたちの関わりが薄くなってしまうという意見もありましたので、浜益の中で作るという形が良いと思います。

また、学校として授業時数の確保が可能なのか、児童生徒の関わり方、大人の関わり方などは、まだ検討・調整する事項があります。

校章の募集・決定方法については、校名の決定後ということからも、まだ時間的に余裕があるということで、引き続き事務局でも検討していただき、次回部会まで持ち越しということによろしいでしょうか。

<全会一致で了承>

③ 校歌の募集・決定方法について

校歌の募集・決定方法について、市川主査より説明。

- ・厚田学園では、厚田区に縁のある方を設立準備委員会や事務局とで適任者を探り、作詞を厚田小第 38 代校長の伊藤 潮 氏に、作曲を厚田小第 44 代校長の高橋 たい子

氏に依頼し、ご承諾を得て作成された。

- ・来年7月までの制定に向けた事務局案として、案1「現・浜益小学校校歌の作曲に携わっていただいた吉弘先生に作詞も含めてお引き受けいただけないか」、案2「CSや本部会の方々の伝手で、作詞・作曲が出来る方で、かつ浜益に縁のある方をご推薦いただけないか」、案3「伊達市の旧大滝村の大滝徳舜警（とくしゅんべつ）学校のように、小・中両校の校歌をそのまま残す」という三つの案。
- ・小・中両校の校歌を残すということでは、まず、浜益小学校の校歌は皆が手話で歌える、また、合同運動会では両校の校歌が流れているなど、区民が口ずさめる。文化・伝統の継承といった考え。

【川村部会長】

事務局から三つの案が示されましたが、校歌については、校名決定後の着手、来年7月までの制定というスケジュールです。

校歌についても、まだ少し時間があるということで、本日この場での決定はせずに、まずは、この三つの案のどれがいいのか、あるいは、事務局案とは別の意見など、一度、皆さんに持ち帰っていただき、それぞれ考えていただこうと思います。

次回部会で整理することといたします。

<全会一致で了承>

2 その他

本日の意見のまとめと今後の部会の開催について、笠井課長より報告（口頭）。

- ・校名については、候補となる校名とその他自由記述ができる投票用紙を8月末に全戸配布し、区内主要施設に回収箱を設置する。
- ・区内主要施設まで行けない方は浜益支所で個別に回収する。
- ・校章・校歌については、本日の意見をもとに次回部会までに整理する。
- ・学校運営協議会（CS）とは別に、部会を単独で開催する可能性もある。
- ・開催方法は、参集いただくケースのほか、書面開催なども考えており、部会長と相談しご案内するのでご理解ご協力をお願いします。